

令和7年度 後志教育研修センター調査研究事業報告会 開催要項

1 事業の名称

設立50周年記念後志教育研修センター調査研究事業報告会

2 事業の目的

人と物が繋がる人間中心の社会「Society5.0時代」を推進する上において、デジタル化・オンライン化、そしてDXの加速化など社会背景が急激に変化する時代に突入している。次代を担う子どもたちには多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる資質・能力を身につけることが求められている。

現行の学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」の下、個別最適な学びと協働的な学びに一体的に取り組み、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組をより一層推進していくことが重要である。

当センターではこれらの課題を踏まえ、北海道教育研究所連盟や後志社会教育主事会と連携を図りながら、調査研究事業を学習指導研究委員会と社会教育研究委員会の2本立てで推進してきている。本事業報告会は各学校の教職員や社会教育に携わる社会教育主事等の参加を呼びかけ、当センターの中間報告として成果と課題を明らかにしていくものである。

当センターが教育の専門的機関としての力量を高め、管内教育の一層の充実・発展に寄与していくものである。

3 事業の主催及び後援

(1) 主催 後志教育研修センター

(2) 後援 (予定)

北海道教育庁後志教育局 後志町村教育委員会協議会 倶知安町教育委員会 小樽市教育委員会
後志へき地・複式教育研究連盟 後志小中学校長会 小樽市校長会
後志小中学校教頭会 小樽市教頭会 後志社会教育主事会

4 事業の実施内容

(1) 日時 令和8年1月8日(木) 14:00～16:00

(2) 会場 倶知安町文化福祉センター 公民館中ホール

(3) 対象 後志管内教職員、社会教育主事、社会教育関係職員、教育関係者

(4) 内容 令和7年度調査研究事業の報告(学習指導、社会教育)

① 学習指導に関する調査研究(3年次研究の2年目)

○研究主題 『授業力の向上と校内研修の在り方』～子ども主体の授業づくりを通して～

○研究内容 学習指導要領で重要視している「主体的・対話的で深い学び」という学び方に向けて、「主体的に生きる」「多様な人々と生きる」「協力して生きる」「感謝して生きる」「誇りにして生きる」力を学ぶことに焦点を当てていく。教員が一方的に教え込む授業から子どもが教わったことを生かして、自ら考え・判断し・表現して学び合う、そのような授業改善への転換を追究していく。所員担当の3つの研修講座と検証授業の実施を通して、授業力の向上と校内研修の在り方の調査研究を深めていく。

教職員の授業力向上をねらいとして、管内の教職員が日常実践している指導案や略案、授業づくりのコンテンツなど集めた指導案バンクをウェブ上で立ち上げ、教職員が気軽に使えるように工夫していく。

○研究委員長 山本啓太 副委員長 中島佳美 秋森美南

② 社会教育に関する調査研究(5年次研究の3年目)

○研究主題 『持続可能な社会に向け、地域の可能性を引き出す学びを創る社会教育の在り方』

○研究内容 令和5年度より研究主題を上記のように設定し、地域・学校・行政が連携して地域を持続していくための社会教育の役割について研究していく。

5年次研究の3年目となる今年度もサブテーマを設けず、管内各市町村の現状を踏まえた事業を行い、地域の可能性と課題を探るために後志社会教育主事会が主催する「しりべしジュニアリーダーワークショップ」を継続して行う。

地域・学校・行政が連携して地域の可能性を引き出すための学校運営協議会・地域学校協働活動の在り方を研究する。

○研究委員長 遠藤純貴 副委員長 中村貴人

5 当日の日程

13:30	14:00	14:20	15:55	16:00
受付	開会式	調査研究の報告		閉会式